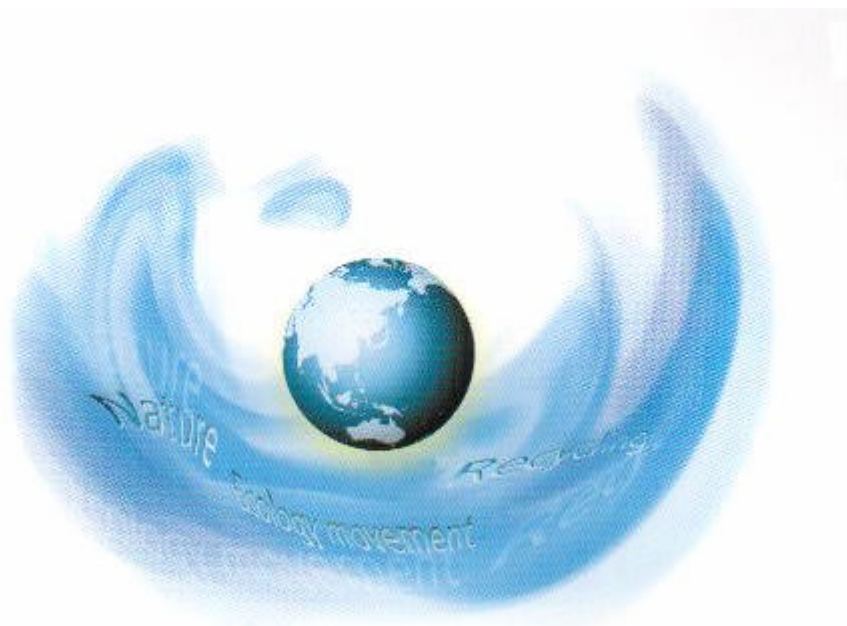


東レグループ瀬田 環境報告書 2005



東レグループ瀬田各社

東レ（株）瀬田工場
東レエンジニアリング（株）瀬田工場
東レ・プレジジョン（株）

瀬田工場



瀬田工場の概要

所在地 大津市大江1丁目1番1号
〒520-2141 TEL(077)544-3500代表
主な生産品 紡績系・医療用具

沿革

- 昭和12年6月 瀬田工場建設
- 昭和13年4月 スフ紡績・織布の生産開始
- 昭和24年10月 スパンレーヨンを初出荷、
10月17日を工場記念日に制定
- 昭和27年10月 ナイロン・レーヨン混紡糸の
生産開始
- 昭和32年12月 ナイロンタイヤコードの生産開始
- 昭和46年4月 オープンエンド精紡機を設置
- 昭和54年4月 革新紡績機を設置
- 平成4年8月 医療用具製造許可を取得し、生産開始
- 平成5年10月 液晶カラーフィルターの生産開始
- 平成12年9月 ISO14001認証取得

工場内の関係会社

東レエンジニアリング
(株)

エレクトロニクス製造関連装置と検査、計測・制御機器、
プリンターなどの設計、製作、施工

東レ・プレジジョン(株)

精密機器、光デバイスおよび工作機械類の製造・販売

滋賀殖産(株)

付帯業務の請負、各種製品の生産・加工・販売

東洋実業(株)

構内物流作業の請負、各種製品の生産・加工

目 次

- . ごあいさつ
- . 東レグループの環境に関する基本理念
- . 東レ（株）瀬田工場環境方針
- . 環境保全への取り組み
 - ISO14001 認証取得
 - 水質汚濁防止
 - 大気汚染防止
 - 廃棄物の削減
 - 地球温暖化防止
 - 平成16年度化学物質排出・移動量
 - 環境保全訓練
- . その他の活動
 - 地域社会とのコミュニケーション
 - 環境にやさしい「トレスルー」を歩道に使用
 - 環境管理実施事業所として認定

．ごあいさつ

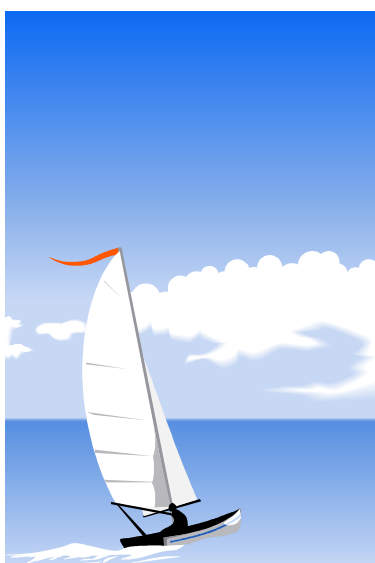
東レグループは、安全・防災・
環境保全を最優先経営課題として取り組んでいます。

東レグループは、経営理念の行動指針に「安全・防災・環境保全を最優先課題とし、社会と社員の安全と健康を守り、環境保護に努めます」と掲げ、省エネルギー、廃棄物の削減、化学物質の排出抑制、リサイクルなど、環境活動の充実に努めています。

当工場は1938年に生産を開始し現在では生産のみならず、開発センター機能をも併せ持った複合工場です。直面する環境問題に、レスポンスブル・ケア活動の一環として2000年9月に認証取得した、「ISO14001」環境マネジメントシステムを通じ、今後も環境保全・環境改善について積極的に取り組んで参ります。

本報告が、東レ瀬田工場、東レエンジニアリング瀬田工場および東レ・プレジジョンの環境保全・環境改善活動について、皆さまにご理解いただく一助となれば幸いです。

東レ（株） 瀬田工場長
岡田 武彦



・環境に関する基本理念

東レおよび東レグループ各社では、安全・防災・環境保全を最優先経営課題とし社会と社員の安全と健康を守るとともに、環境保護とエコロジーに対応した製品・技術開発により社会に貢献していきます。

・東レ（株）瀬田工場 環境方針

近畿の水瓶琵琶湖に隣接する瀬田工場は周辺環境との調和を常に意識し、東レ（株）経営理念における行動指針「安全・防災・環境保全を最優先課題とし社会と社員の安全と健康を守り環境保護に努めます」に沿って、以下の具体的環境方針を策定し、瀬田工場で働く全ての人によって環境マネジメント活動を推進していきます。

1	環境マネジメントの適切な運営により、環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
2	環境への排出物や廃棄物の削減を行い、汚染の予防と防止に努め、エネルギー消費の少ない工場づくりを進めるとともに、環境にやさしい製品、活動及びサービスの提供に努めます。
3	環境関連の法規制及び工場が同意したその他の要求事項を順守します。
4	環境目的・目標を設定し、その実現を図るとともに定期的に見直します。
5	本方針は文書化し、実行し、維持するとともに工場で働く全ての人に周知徹底します。
6	本方針は、一般に公開します。



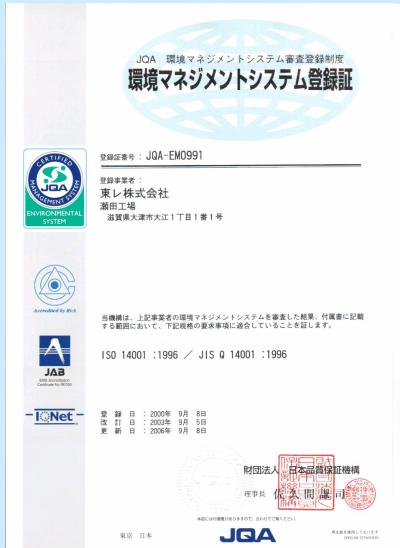
制定：平成11年 4月27日
改訂1：平成13年 2月 5日
改訂2：平成17年 4月 1日

瀬田工場長

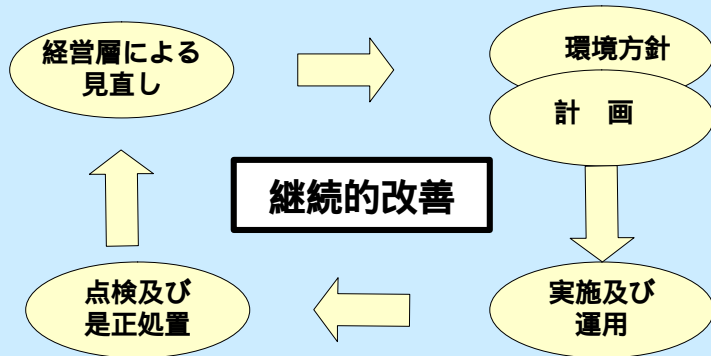
. 環境保全への取り組み

ISO 14001 認証取得

東レおよび東レエンジニアリングは2000年9月8日付で、また、東レ・プレジジョンは2003年8月29日付で環境マネジメントシステムの国際規格「ISO 14001」を認証取得し運用しています。



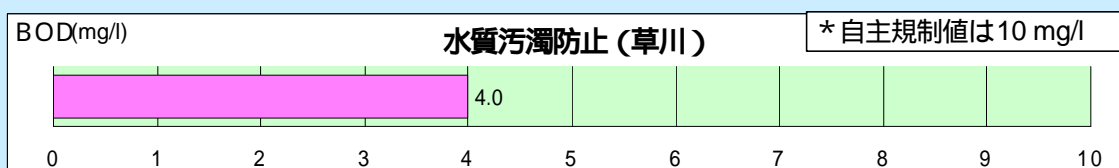
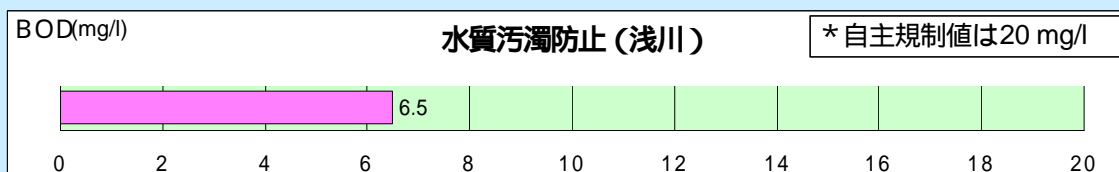
- ### 平成17年度 工場目標
- ・ 総廃棄物の排出量を111t / 年以下にする。
 - ・ リサイクル率を96.0%以上にする。
 - ・ 埋立廃棄物の排出量を総廃棄物排出量の1.0%以下にする。
 - ・ エネルギー費用を2.38百万円以上削減する。
 - ・ グリーン購入に対する調査を開始し、グリーン購入率を決定する。
 - ・ 環境にやさしい製品、活動及びサービスを提供するため、各部署の実状に合わせた目標設定をする。



上記のシステムを継続的に実施することによって、環境負荷の低減や事故の未然防止に努めます。

水質汚濁防止

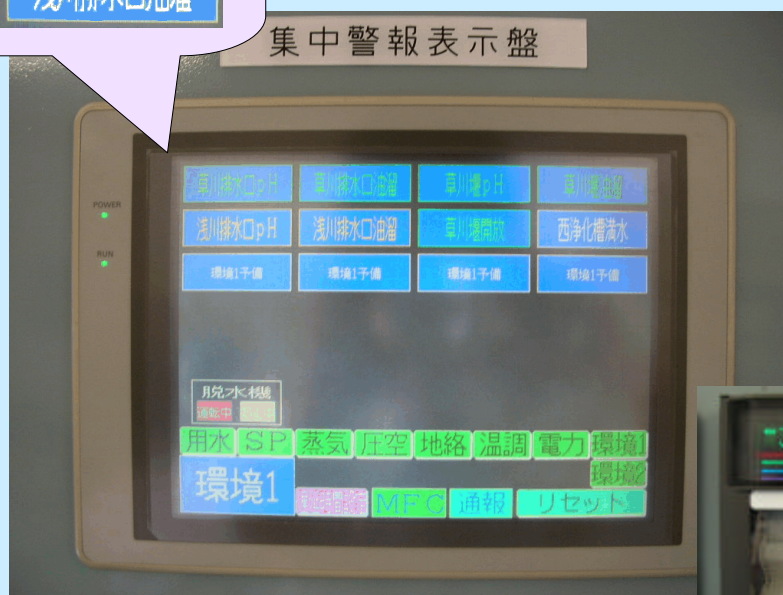
工場の排水には、浅川、草川および市下水道へ流す3系統があります。その内、浅川、草川の排水口には、pHと油の異常警報装置および油分離装置を設置し、万一の場合に早期発見と公共水域への流出防止ができるようにしています。また、草川については下流堰の所に油の異常警報装置を設置して、近隣地域から流出してくる水も含め、異常が発見できるようにしています。



BOD：生物化学的酸素要求量（有機物が微生物により酸化分解されるときに必要な酸素量。河川の汚濁指標。） 2004年の最大実績値



工場出口の放流水は常時監視しています。

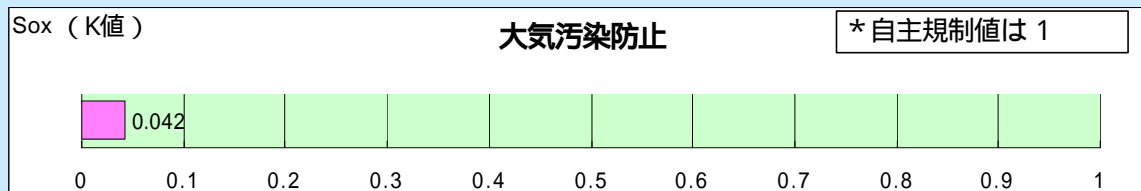


pHと油の監視装置



大気汚染防止

ボイラーから排出される硫黄酸化物については、運用管理を徹底し、規制値をクリアしています。

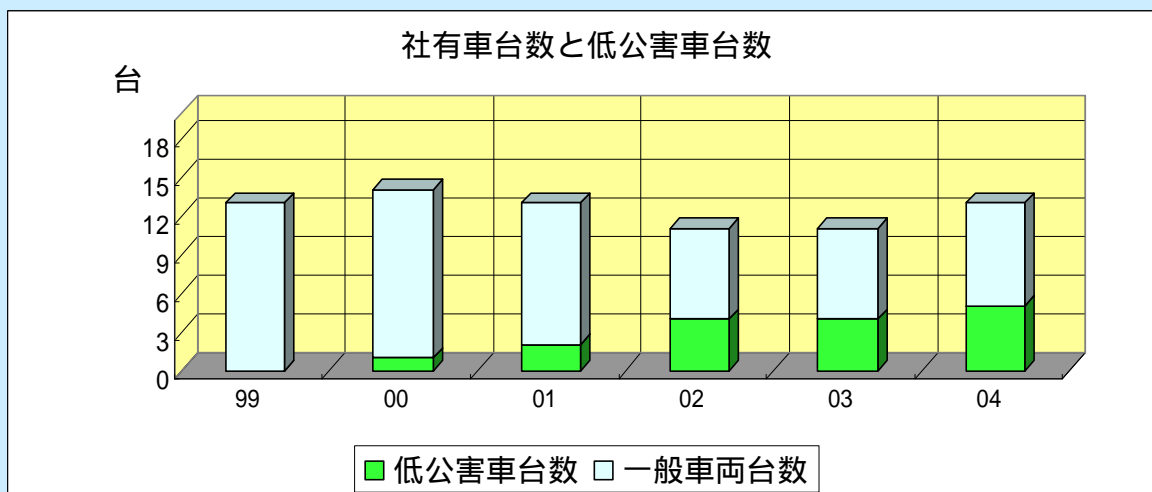


K値：硫黄酸化物排出基準の算出における数値
2004年の最大実績値

環境負荷の低減

東レエンジニアリング(株)は、「滋賀県大気環境への負荷の低減に関する条例」に基づいて「自動車管理計画表」に下記項目を行動目標として挙げ、環境負荷低減に努めています。

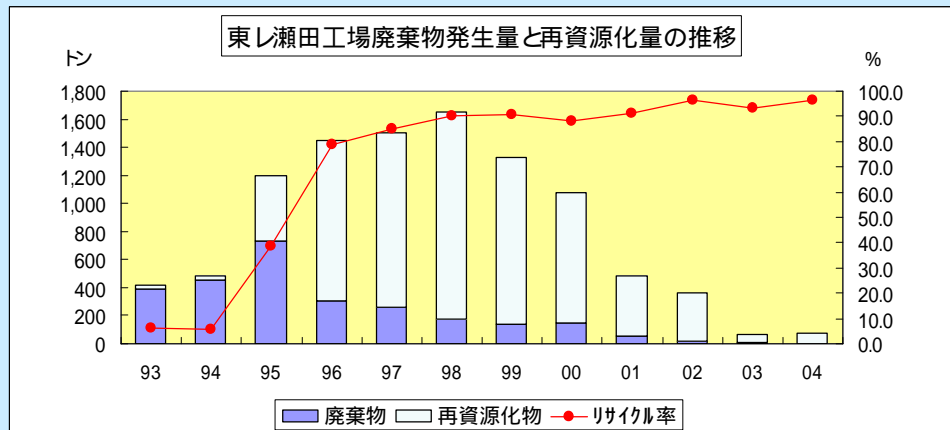
1. アイドリングストップの徹底
2. より低公害な自動車の使用・リース更新時低NOx車への転換
3. 燃料消費量および走行距離の削減



廃棄物の削減

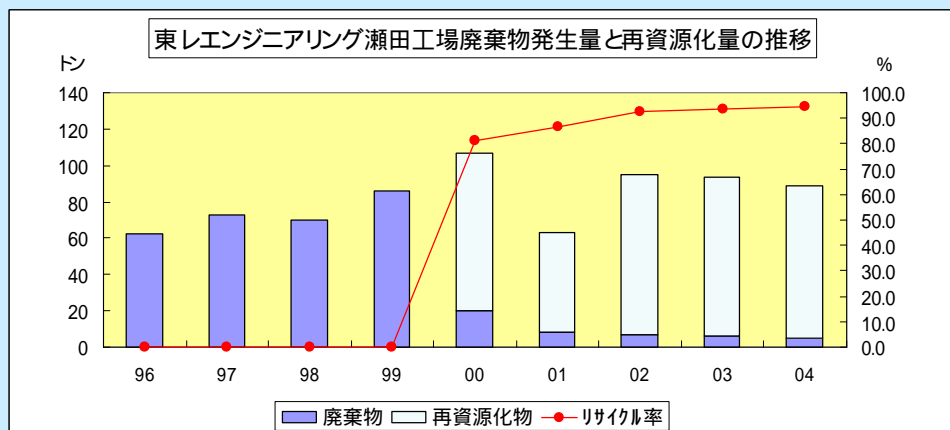
東レ（株）瀬田工場

1999年から計画的な廃棄物削減に努め、廃棄物排出量の削減、再資源化を積極的に進めています。また、2005年4月より「ゼロエMISSIONの達成」をISO14001の目標に挙げて活動しています。



東レエンジニアリング（株）瀬田工場

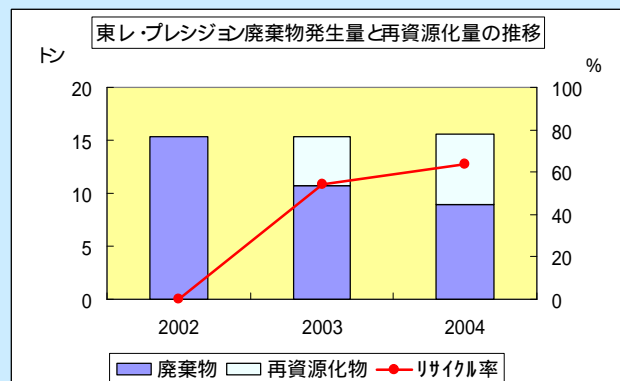
東レエンジニアリング瀬田工場は廃棄物を少しでも削減するため、2000年から削減目標を設定し、計画的に3R活動（REDUCE:減量，REUSE:再使用，RECYCLE:再資源）を積極的に推進してきました。2003年9月のISO14001更新審査を機に「ゼロエMISSION」を目指した活動を推進しています。



東レ・プレジジョン（株）

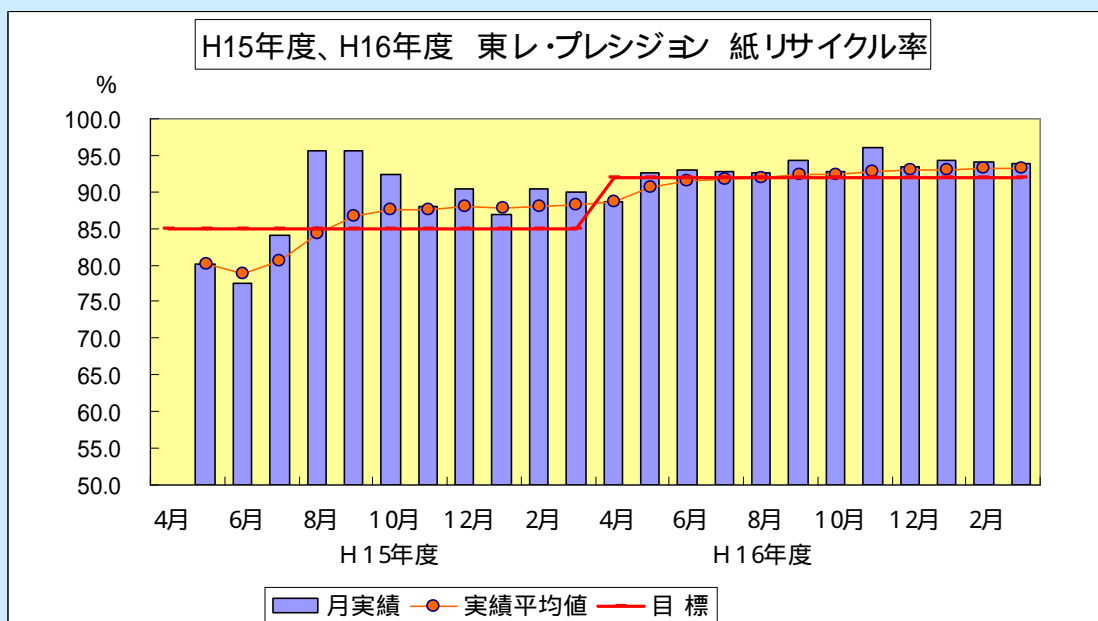
・廃棄物量

東レ・プレジジョンは、廃棄物削減目標を設定し、計画的に総排出量の削減と再資源化を積極的に推進しています。



・紙リサイクル

東レ・プレジジョンは、紙リサイクル92%以上を目標に推進しています。

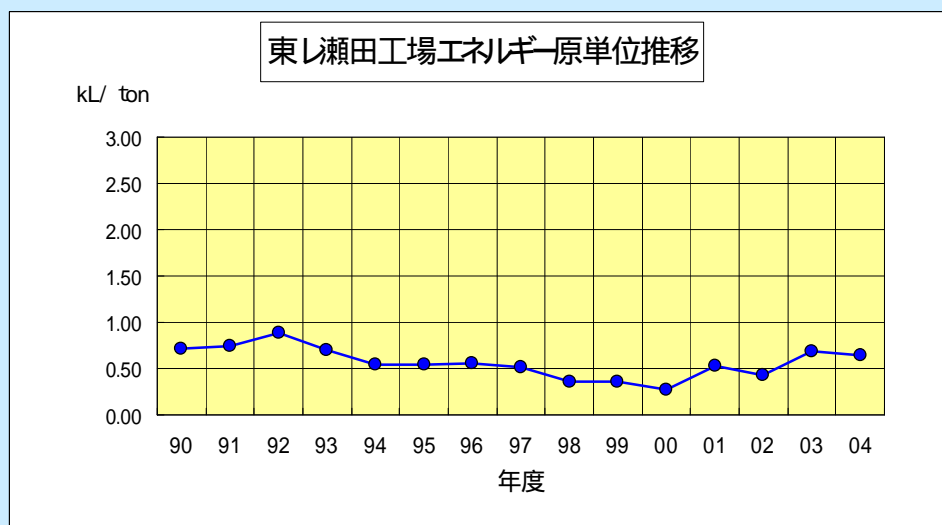


地球温暖化防止

東レ(株) 瀬田工場

地球温暖化防止策として、省エネルギー推進委員会を設置し、省エネ診断を行い、設備の改善や使用条件の見直し、管理強化など対策実行により省エネルギーの推進を実施し、二酸化炭素排出量の削減に努めています。

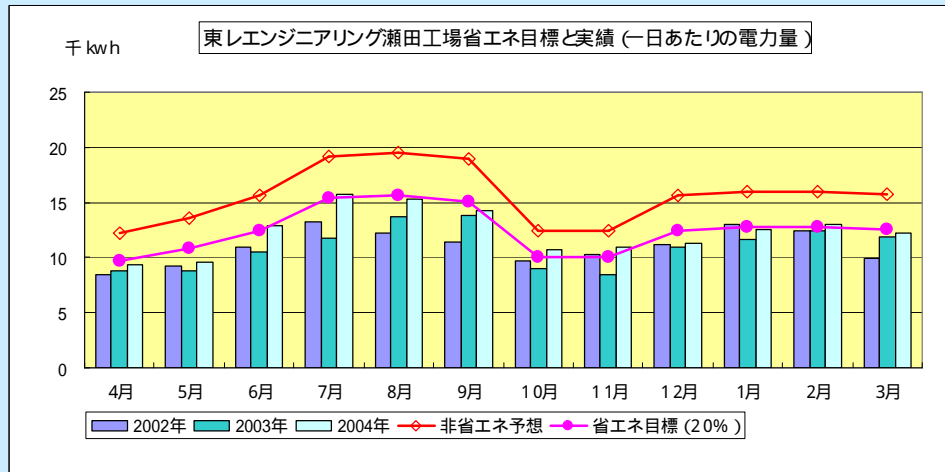
これによりエネルギー原単位を良好なレベルに維持しています。



東レエンジニアリング（株）瀬田工場

東レエンジニアリング瀬田工場は、業務形態から使用エネルギーは電力が主であり、省エネルギー活動も電力消費抑制を中心に展開しています。

昨年からの受注増の中で、日常の活動として電力消費の多いクリーンルームの室温・運転管理やエコアイス化、さらに不要照明の消灯、OA機器の電源OFFなどこまめな日常管理を展開し、省エネ活動を通じて地球温暖化防止に努めています。



平成16年度化学物質排出・移動量（P R T R該当物質）

当工場で取り扱っているP R T R法対象物質は、特定第一種指定化学物質のエチレンオキシド1物質のみです。本物質については平成15年6月に、燃焼して無害化する設備を導入し100%除去できています。なお、本物質の水域や土壌への排出はありません。

物質名	単位	大気への排出	水域への排出	工場外への移動	敷地境界線での濃度
エチレンオキシド	Kg/年	0	0	0	検出なし

酸化エチレン除外装置

